

（件名）ハルビン松雷百貨店で、今年も北海道食品フェアを開催！

黒龍江省ハルビン市の中心部に立地する松雷百貨店で、5年連続5回目の北海道食品フェアが始まりました。

北海道と黒龍江省との友好提携の覚書における経済交流の一環として、道産品の販路拡大を目的として実施する北海道庁の事業です。



時期：2月25日（金）～3月10日（木） 14日間
 売場：①松雷百貨店南崗店地下1階食品売場、②オンラインショップ
 主催：北海道（事業受託：（株）T&Tフェニックス）
 商品：米、ラーメン、菓子、調味料、納豆、日本酒、飲料水等 58品目

1. 会場の状況

会場は、百貨店地下1階の食品売場の中央あたりに特設コーナーとして設置され、知事のメッセージや道産品シンボルマーク、アイヌ文化、縄文文化などの紹介パネルも配置しました。

現場には、試食提供及び商品説明のため、スタッフが1名常駐し、開催初日は（株）サッポロ麺匠のラーメンの試食を実施し、味の評判は上々でした。

売れ筋は、冷凍の納豆、ビスケット、ラーメンなどで、価格帯が手頃な商品が好まれたようです。

北海道フェアの区画以外にも、スーパー全域への「北海道フェア」ポスター掲示、各階エレベーター横モニターでのポスターデータ掲示など、店舗全体での盛り上がりに向けたPRを展開いたしました。

また、フェア期間中、松雷百貨店が運営するEC（電子商取引）サイト内の特設オンラインショップでも道産品を販売したほか、生放送での販売（ライブコマース）も期間中2回実施いたしました。



北海道フェア特設コーナー



ラーメンの試食



オンラインショップ



ライブコマース風景

2. 今後の展望

松雷百貨店の責任者からは、「今回5回目の開催となり、当店の顧客の間でも『毎年この時期に北海道フェアを実施している』という認知が確実に高まってきている。毎年3月8日の「婦女節（国際女性DAY）」は小売店の販売成績が非常に高まる時期だが、この日を挟んだ北海道フェアは今後もぜひ実施したい」とのコメントがありました。

また、今回、北海道フェア特設コーナーだけでなく、スーパー内の定番商品の棚でも、フェアに出品した納豆、ラーメン、ふりかけなどを販売いただいております。私からは、フェア期間に留まらない今後の定番化について、強く要望させていただきました。

松雷百貨店と連携した道産品の販路拡大に、引き続き取り組んでまいります。



定番商品の棚に並ぶ道産ラーメン

（件名）黒龍江省政府関係機関の訪問について

松雷百貨店での北海道食品フェアの開催に合わせて、黒龍江省政府の各関係機関を訪問しました。

1. 黒龍江省外事弁公室

2月24日、黒龍江省外事弁公室の楊鴻鵬 副主任を訪問しました。

2021年の北海道・黒龍江省友好提携35周年事業について振り返るとともに、今後の交流促進について合意しました。

また、北京冬季オリンピックの日中双方の出場選手の活躍をたたえ合うとともに、選手団のうち北海道と黒龍江省の出身者がそれぞれ相当の割合を占めることなどを紹介し合いました。楊副主任からは、「ウィンタースポーツの面で世界を牽引する両地域間で、この分野での交流の一層の活発化を図りたい」旨コメントがありました。



（右から2番目）楊鴻鵬 副主任

2. 黒龍江省商務庁

2月25日、黒龍江省商務庁 国際経貿関係処の李楽禹 処長を訪問しました。

当方からは、松雷百貨店での北海道フェアの状況と今後の展望などを伝え、今後の道産品販路拡大に向け、一層の協力を依頼しました。

李処長からは、黒龍江省は面積が広大で、各地に特色ある地域資源が豊富にあるので、今後、北海道の自治体や企業を対象に、ハルビン以外の地方都市との交流の機会を作りたいとの提案をいただきました。

引き続き、外事弁公室及び商務庁をはじめとする関係機関との様々な交流を進めてまいります。